

ダスキン健康保険組合
第136回組合会報告

令和5年度予算と事業計画

2023年2月1日に開催されたダスキン健康保険組合第136回組合会において、令和5年度予算および事業計画が議決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

健康保険

増加を続ける医療費や高齢者医療への納付金支払いなどに対処するため保険料率を引き上げます

保険料率を10.10%から11.03%に

令和5年度予算は、保険給付費(医療費)の増加や、高齢者医療への納付金増加に対処し、また、これまで赤字補填のため取り崩してきた別途積立金を回復する必要から、令和4年度に引き続き、保険料率を引き上げねばならない状況となりました。組合員の皆さまには、以下の内容をご理解いただき、ご協力の程よろしくお願いたします。

▶ 保険給付費(医療費など)の増加

令和3年度の保険給付費は前年度比7.1%増、令和4年度は前年度比1.5%増の見込みです。令和5年度は前年度比4.5%増で予算組みしています。令和3年度までの直近5年間の合計数値と、それ以前の5年間を比較すると、被保険者1人当たり保険給付費は7.8%増加、逆に報酬月額(保険料を決めるための、お下りを基準とした働きさん1人当たりの収入額)は、再雇用や短時間労働者の増加などにより4.4%減少しています。平均年齢は2.2歳上がっています。今後とも保険給付費の増加傾向は継続すると思われ、将来も見据えた対応が必要となります。特定健診による早期発見や、特定保健指導による重症化予防などにより保険給付費を適正化していくために、皆さまにおかれましても、事業所や当健保から案内が届いた場合は、積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

▶ 納付金の増加

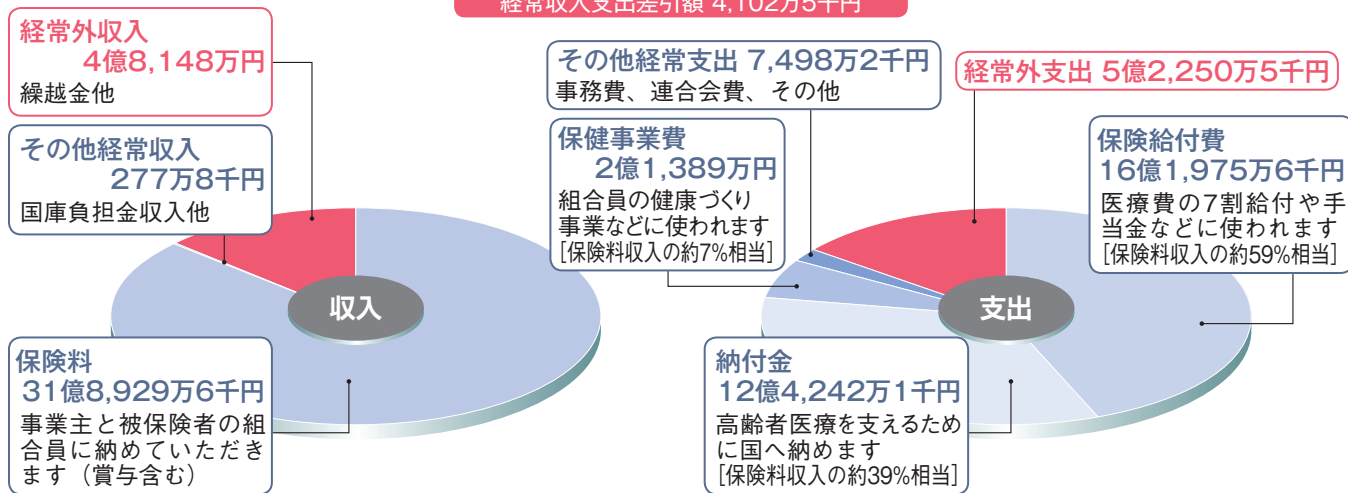
団塊の世代が2022年から後期高齢者(75歳以上)に移行し始めており、2025年には団塊の世代全員が後期高齢者になります。健康保険組合などの保険者は、後期高齢者の医療費の一部を支援金として負担していますが、超高齢化社会の訪れに伴い、今後この支援金のさらなる増加が見込まれ、次に説明する前期高齢者納付金対策とあわせ、これに対する備えが必要となります。

▶ 別途積立金の補填

全国的には前期高齢者(65歳以上75歳未満)は国民健康保険(市町村国保)への加入が多いため、前期高齢者の医療費負担は国民健康保険に偏ります。この不均衡解消のため、各保険者の前期高齢者加入率に応じて負担を調整するしくみがとられています(加入率が平均より少ない保険者は差分を負担する)。この計算の際、その保険者に属する前期高齢者1人当たり医療費が積算されます。1人当たり医療費が大きく増加すると、納付金の額が大幅に増加します。当健保では令和3年度には前年度比4億9,000万円増加しました。前期高齢者の方々には病気の早期発見、早期治療に努めていただきたいと思いますが、制度のしくみ上、わずかな人数の医療費増加で億単位の支出増となるため、ある程度の積立金を確保しておく必要があります。現在、別途積立金は底をついており、令和5年度は、急な出費に備えるため予備費に5億円弱の予算を計上しているものの、今後の保険給付費や後期高齢者支援金の増加も含め、別途積立金を補填しておく必要があります。

予算の基礎数値 (年間平均)	
被保険者数	6,970人
平均標準報酬月額	275,000円
保険料率	11.030%
事業主	5.515%
被保険者	5.515%

経常収入支出差引額 4,102万5千円



介護保険

保険料率は1.85%に据え置き

令和5年度の介護保険料率は据え置き1.85%。介護納付金は3億7,833万円(前年度予算比3,207万円増)を見込んで予算編成しました。

一定の繰越金は見込めるものの、超高齢化社会を背景とした将来の納付金増加を見据え、保険料率は据え置きとしました。

科目	収入予算額
介護保険収入	4億385万1千円
繰越金	1億68万7千円
雑収入等	4千円
収入合計	5億454万2千円
科目	支出予算額
介護納付金	3億7,833万円
介護保険料還付金	19万円
積立金	2千円
一般勘定繰入	1千円
雑支出	1千円
予備費	1億2,601万8千円
支出合計	5億454万2千円

予算の基礎数値 (年間平均)	
第2号被保険者数たる被保険者数	4,810人
平均標準報酬月額	293,000円
保険料率	1.85%
事業主	0.925%
被保険者	0.925%

介護保険料は40歳以上65歳未満の被保険者から徴収されます。

令和5年度 ダスキン健康保険組合が取り組む保健事業

令和5年度、ダスキン健康保険組合では下記の保健事業に取り組み、組合員一人一人の健康維持・増進を応援いたします。



◆ 組合員の皆さまに、ご自身の健康状態を知っていただくための事業 ダスキン健保ホームページ健康づくり編 ▶

特定健康診査	人間ドック健診（節目健診名称改め）	ファミリー健診（特定健診を含む）	受診勧奨
対象 40～74歳の被保険者・被保険者配偶者・被扶養者 定期健康診断と同時に行います。生活習慣病（高血圧・高血糖・脂質異常症など）の早期発見・治療・予防のために実施しています。被保険者には事業主とのコラボヘルスにより実施しています。糖尿病などの発見のため眼底検査も付加しています。HbA1c（糖代謝）、腎機能項目（クレアチニン・eGFR）検査は全年齢の方に付加しています。	対象 40歳以上3歳刻み（73歳まで）の被保険者・被扶養者 定期健診のH3コース・ファミリー健診のF3コースです。 3年毎の節目に特定健診・胃部内視鏡・腹部エコー・がん検診（大腸・婦人科）など、人間ドック学会の検査項目を提携医療機関で受診いただきます。	対象 被扶養配偶者、40歳以上の被扶養者と任意継続加入者 病気の早期発見・治療につなげるための定期健康診断。40歳以上は眼底検査を含んでいます。がん検査として、大腸がんと婦人科検診項目も付加しています。	対象 健診結果で重症化リスクのある方 重症化リスク項目への治療や再検査を勧めるため、電話で看護師・保健師が行います。 他にも生活習慣改善プログラムや二次健診の受診促進勧奨も行います。
補助金制度（部位検診）	補助金制度（婦人科がん検診）	補助金制度（大腸がん郵送検診）	医療費通知/ジェネリック差額通知
対象 40歳以上（H2・F2コース）受診者のうち希望者 40歳以上の加入者（H2・F2コース）のうち、一部提携医療機関受診時または定期健診結果を受領された希望者に実施。 ● 健保負担上限金額 10,000円 ● 受診対象期間（2月末まで） ※肺ヘリカルCT・脳MRI / MRA・胃部内視鏡・大腸内視鏡のいずれか1コース	対象 女性被保険者・被扶養配偶者・40歳以上の被扶養者のうち希望者 医療機関および、事業所での集団婦人科検診で実施。 ● 健保負担上限金額 10,000円 ● 受診対象期間（2月末まで） 提携医療機関では定期健康診断の受診項目に含まれています。 ※検診は年1回のため、定期健康診断、人間ドック健診などでの受診者は対象外	対象 被保険者・被扶養配偶者と40歳以上の被扶養者のうち希望者 被保険者・被扶養者の希望者を対象に実施。健保が費用負担。 ● 受診対象期間（2月末まで） 提携医療機関では定期健康診断の受診項目に含まれています。 ※検診は年1回のため、定期健康診断、人間ドック健診での受診者は対象外	<医療費通知対象> Webサービス [KOSMO Web] で毎月情報更新にて通知。 <ジェネリック差額通知対象> 差額通知（3カ月分で500円以上の差額がある方）。年2回通知。 <適正服薬の推進> 多剤服用のリスクを防ぐための取り組みをします。

◆ 組合員の皆さまに、ご自身の健康状態の改善に取り組んでいただくための事業

特定保健指導	Under40/服薬者（生活習慣改善プログラム）	重症化予防プログラム
対象 特定健診の結果、健康リスク（血糖・血圧・脂質）が高まる可能性がある方 健康の保持に努め、重症化を防ぐために動機づけ支援、または積極的支援を行います。国から健保に実施を義務付けられている事業です。事業主とのコラボヘルスで、対象者への参加勧奨を行っています。 ※期間は3カ月。複数コースからプログラムを選択できます。	対象 健康診断の結果、40歳未満もしくは、服薬者の健康リスク（血糖・血圧・脂質）のある方 将来の重症化予防のため、特定保健指導の基準に該当するが、年齢もしくは服薬していることでその対象から外れてしまった方を対象に専門家による生活習慣改善プログラムを実施します。事業主とのコラボヘルスで、対象者への参加勧奨を行っています。 ※期間は3カ月。複数コースからプログラムを選択できます。	対象 健康診断の結果、糖尿病や心・脳血管疾患などの健康リスクの高まる可能性のある方 重症化予防のため、専門家による保健指導を実施。直接面談、タブレット貸与、スマホ、電話を介して参加しやすい環境を用意します。 ● 糖尿病重症化予防 ● 心・脳血管疾患発症予防 ● オンライン禁煙プログラム

◆ 組合員の皆さまの健康増進にお役立ていただくための事業

kencom	家庭用常備薬の割引斡旋	「みんなで歩活」ウォーキングイベント	スポーツ施設 法人会員
健診結果、医療費情報チェックができる、一人一人に合わせたICT活用の「個人向けポータルサイト」です。楽しく健康習慣を身に付ける情報提供、健保からの「お知らせ」を登録アドレスにメール配信もしています。	家庭用常備薬を組合員価格で斡旋します。本誌に同封の申込書だけでなく、ホームページからも申し込みができます。 今年度から委託事業者を変更しております。	組合員の健康増進のため、春と夏に実施するウォーキングイベントです。毎回新たなランキング賞を設け、チームで楽しく競っていただきます。希望のチームを選び、登録して参加します。2021年秋からは一人参加も可能となりました。 参加は、kencomのサイトから登録します。	スポーツクラブ「ルネサンス」・「ライザップ」が作ったコンビニジム「chocoZAP（チョコザップ）」を法人会員で利用いただけます。

◆ 組合員の皆さまに、健康に関する各種情報を提供するための事業

広報誌 [santé]	ホームページ Net-IPPO	健康相談	コラボヘルスによる健康経営サポート事業
制度の変更や、予算・決算、健康推移や保健事業の取り組み、健康白書の全体版などを掲載。被保険者には事業所へ、被扶養者用はご自宅に、年2回送付します。	健康診断など当健保からのお知らせをホームページやNet-IPPOにて公開しています。 2023年4月よりLINE（ダスキン健保de健康エール）*を導入。 ※LINEの導入に伴い、社内イントラ「ノーツの健康保険組合情報」は令和4年度末で終了しました。	24時間・年中無休の電話健康相談を設置。 TEL 0120-860-647	事業主・労働組合と三位一体のコラボヘルスにより、健康経営推進のサポートを行います。 ● 健康白書の公表 事業所の働きさんの健康推移と各種取り組みの成果を分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果を公表。 ● 健康管理システム「すこやかサポート21」の活用 事業主が健康診断の結果をクラウドシステムで一元管理し、事業主と健保が共有した情報をもとに双方で受診確認、受診勧奨を実施します。 ● 健康経営優良法人認定 健康経営優良法人を事業主が認定できるようサポートします。

*保健事業の内容は、データヘルス分析をもとに、重点施策を組合会にて毎年度決定いたします。

※医療費通知の書面発行は令和2年度で終了しています。KOSMO Webをご利用ください（通信環境がないなど、本サービスが利用できない場合は、「医療費通知明細発行申請書」をご提出ください。個別に「医療費通知明細」を発行いたします。医療費は、kencomでも確認ができます。